

第2回 クーバー・カップ in AUA U-10/U-12

7月16日の海の日に、『第2回 クーバー・カップ in AUA』を開催いたします。日頃トレーニングしている成果を発揮する場です。コートは冷暖房完備、屋内コートの為、雨天中止や日差しの心配もございません！

最高の舞台でチャンピオンを目指して熱い戦いをしましょう！！

第2回 クーバー・カップ in AUA 概要

- 【日 時】 7月16日(月・祝) U-10/14:00-16:30 U-12/17:30-20:00
※代表者の方は開始15分前までにお越しください。代表者会議をおこないます。
- 【料 金】 6,480円/1チーム ※参加当日フロントにてお支払いください。
- 【内 容】 5v5のゲーム U-10/7分1本 U-12/8分1本 ランニングタイム
 最低5試合保障 予選リーグを行った後、決勝トーナメント
 ※参加チーム数によって大会形式が異なりますのでご了承ください。
 ※ルールは現行のフットサルルールで行います。
- 【対 象】 U-10(3、4年生)、U-12(5、6年生)の男女、6～8名で構成されたチーム
- 【定 員】 **先着8チーム ※4チーム以上で開催。7月9日時点で開催有無決定。**
- 【持ち物】 室内用トレーニングシューズ(汚れていないもの、スパイク不可)
 すね当て、着替え、タオル、飲み物
- 【会 場】 アジャ アーバンアリーナ
 住所：沖縄県浦添市勢理客4丁目19-7 4階
 バス：「勢理客」バス停にて下車 徒歩1分
 「安謝橋」バス停にて下車 徒歩5分
- 【施設HP】 
- 
- 【申込方法】 ①お電話 098-943-3288 ※受付時間：月～土 9:00～21:30 日・祝 9:00～18:30
 ②メール 宛先：coerver@aua.okinawa
 件名：クーバー・カップU-10、U-12申込
 本文：①チーム名②保護者様氏名 ③参加選手氏名(ふりがな) ④携帯番号
 ※お申込後2日以上スタッフより連絡が無い場合は、お電話にてご確認をお願いいたします。
- 【申込開始】 **5月21日12:00スタート**
- 【注意事項】
- ・駐車場に限りがございますので各チーム5台までをお願いいたします。
 - ・開始時刻の30分前程度を目安にお越しください。
 - ・イベント当日の怪我や事故につきまして応急処置は行いますが、その後は保護者の責任において対応をお願いします。
 - ・スポーツ保険の適用はございませんので各自でご加入ください。
 - ・イベント中の写真をスクールプロモーション素材などに使用させていただく場合がございますので予めご了承ください。

『クーバー・カップ in AUA』

◎『ルールと基準の統一』『審判の強化』を図り、大会の質を向上させる◎

【大会ルール】

- 1 大会試合球はフットサルボール3号球を使用する。
- 2 競技者の用具について
 - ①両チームともに大会本部で用意する異なる色のピブスを着用する。ただし、ユニフォームがそろっている場合はピブス着用無しでも可。
ユニフォームの色が被った場合は、どちらかのチームがピブスを着用する。G KとF Pの色もピブスで判別できるようにする。
必ず背番号があるものを着用する。
 - ②競技者のシューズは室内用シューズ（トレーニングシューズも可）
 - ③レガース(すね当て)は必ず着用する。
- 3 試合前について：次の対戦チームの指導者は選手を集ませ、ジャンケンでボールorコートを決める。※勝ち(ボール)、負け(コート)
両チーム挨拶(試合前：コート中央にて出場選手5名のみ挨拶)、(試合後：コート中央にて出場選手5名のみ挨拶)
- 4 キックオフについて：ボールはどの方向に蹴りだしても構わない。（キックオフを1人で行うの可とする）
競技者に触れることなく相手ゴールに入った場合、GKからのリスタートとする。
- 5 交代について：【フィールドプレーヤー】自由な交代を採用し、自ベンチ前タッチラインで下記の方法でレフリーの承認なしで行う。
 - ①交代して退く競技者は、自ベンチ前タッチラインからフィールド外に出る。
 - ②交代要員は、自ベンチ前タッチラインからフィールドに入り競技者となる。
 - ③交代はボールがインプレー中、もしくはアウトオブプレーに関わらず行う事ができる。
 - ④交代はレフリーの承認を得る必要はない。【ゴールキーパー】競技時間の確保の観点から、原則フィールド内において競技者同士の交代は認めない。
怪我の場合はこの限りではない。交代はフィールドプレーヤー同様に行う。
- 6 ファウルと不正行為について：競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
退場者は次節の試合も出場出来ない。
- 7 フリーキック：ボールがインプレーになるまで、相手競技者は5m以上ボールから離れる。
- 8 コーナーキック：ボールがインプレーになるまで、相手競技者は5m以上ボールから離れる。
- 9 キックイン：相手競技者は、キックインが行われる地点から5m以上離れる。準備が出来てから4秒以内にリスタート。
キックインが競技者に触れずにゴールに入った場合、相手チームのGKからのリスタートとする。
キックインの違反は相手ボールに変更。（ライン上に置いていない、止まっていないなど全て。）
- 10 ゴールクリアランス：ボールが攻撃側の選手に最後に触れてゴールラインから出た場合はゴールクリアランスにより競技を再開する。
方法はG Kがペナルティエリア内から手で投げる。これはゴールキックの代わりである。
ボールがペナルティエリアから出たときにインプレーとなる。
ゴールクリアランスからのボールが相手ゴールに直接入っても得点にはならない。
- 11 G Kのプレー：キーパーがインプレー中にボールを取ったときは手で投げるか、蹴ることができる。
ノーバウンドでハーフラインを越えた場合、相手チームにハーフライン上から間接フリーキックが与えられる。
バントキックはファウル、ドロップキックはOK（ボールを一度地面につけてから蹴ったもの）
ペナルティエリア内でのゴールキーパーのスライディングタックルは危険でない限り許される。
G Kはペナルティエリアを出てプレーしてもよい。（当然ながら手は使えない）但し、手の場合と同じ様に足でも4秒を越えてキープする事ができない。（4秒以内に相手コート内に入れば4秒は無効となる。）
※バックパスは何度してもよい。
- 12 スライディングタックル：スクール同様に相手競技者のプレーエリア内での**スライディングタックルは、怪我防止の観点から禁止**とする。
違反があった場合⇒スライディングタックルをした地点から行われる直接フリーキックが相手チームに与えられる。
- 13 オフサイド：オフサイドは採用しない。
- 14 延長・PK戦：順位決定戦にて同点の場合、下記の方法にて勝敗を決める。
 - 決勝：決着がつかない場合は3本のP K戦を行う。
 - 決勝以外のトーナメント（勝ち上がり）：即サドンデスP K戦を行う。
 - P K戦では、**試合に出場している選手内に限りG Kへの変更を認める。先行、後攻は代表者ジャンケンで決定。**
- 15 その他：味方のバックパスをG Kが手で処理した場合は、一番近いペナルティエリアのライン上より**間接フリーキック**とし、壁はゴールライン上プレー中の怪我等による中断はドロップボールで再開とし、その際の相手チームに返させるなどは主審の裁量で行う。

（1）審判は常同審判制を採用し、指導者は大会運営の協力を義務づける。審判は各チーム1名とする。

（2）大会をとおして2審制でゲームのコントロールを行うこと。

（3）審判を行う場合はピブスで対応する。

ご協力よろしくお願いいたします。